

「英語第Ⅲ(A群)」講座番号一覧表

※A群・B群で同じ担当者をWebエントリーすることはできません。

(担当者名の50音順で掲載)

講座番号	科目名	担当者	曜日時限
101	英語第Ⅲ	穂元 美咲	月4
102	英語第Ⅲ	穂元 美咲	月5
103	英語第Ⅲ	足立 公平	水4
104	英語第Ⅲ	足立 公平	水5
105	英語第Ⅲ	石塚 政行	水3
106	英語第Ⅲ	石塚 政行	水4
107	英語第Ⅲ	石塚 政行	水5
108	英語第Ⅲ	井上 和樹	火4
109	英語第Ⅲ	井上 和樹	火5
110	英語第Ⅲ	及川 一美	火3
111	英語第Ⅲ	及川 一美	火4
112	英語第Ⅲ	小田 透	水4
113	英語第Ⅲ	小田 透	水5
114	英語第Ⅲ	狩野 みき	水3
115	英語第Ⅲ	小屋 逸樹	火3
116	英語第Ⅲ	小屋 逸樹	火4
117	英語第Ⅲ	柴田 恭子	火3
118	英語第Ⅲ	柴田 恭子	火4
119	英語第Ⅲ	デル・ベッキオ, アンソニー	水4
120	英語第Ⅲ	デル・ベッキオ, アンソニー	水5
121	英語第Ⅲ	沼田 香穂里	火1
122	英語第Ⅲ	沼田 香穂里	火4
123	英語第Ⅲ	ノブオカ, メアリー	火1
124	英語第Ⅲ	ノブオカ, メアリー	火2
125	英語第Ⅲ	ブラザ タロン	水4
126	英語第Ⅲ	ブラザ タロン	水5
127	英語第Ⅲ	ブリュースター, デイモン	火1
128	英語第Ⅲ	ブリュースター, デイモン	火2
129	英語第Ⅲ	星 美季	火3
130	英語第Ⅲ	星 美季	火4
131	英語第Ⅲ	星野 真志	火1
132	英語第Ⅲ	星野 真志	火2
133	英語第Ⅲ	脇田 裕正	月1
134	英語第Ⅲ	脇田 裕正	月2
135	英語第Ⅲ	脇田 裕正	月4

英語 講義要綱(2年生)

英語

英語第Ⅲ(A群)

英語

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

プレゼンテーションを通して読解力を鍛えよう [C]
春学期・秋学期: 月4/月5

権元 美咲

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

英文と向き合い、内容を正確に把握する力はあらゆる場面において情報を入手する際の重要な手段となります。その読解力を鍛えるため、本授業ではプレゼンテーションをベースにして、テキストの読解を進めます。自らが得た情報を他者に説明することを通して読解のトレーニングを行います。具体的には、グループごとにテキストの指定範囲を読み込み、授業当日にプレゼンテーションをしてもらいます。そのプレゼンテーションの内容に基づき、ディスカッションを行います。読む・説明する・考えることを通して、文意の把握に終始せず、話の流れをつかみ、さらに問題提起することのできる読解力の習得を目指します。

授業の計画:

春学期

- 第1回 イン트로ダクション
 - 第2回 グループ発表およびディスカッション
 - 第3回 グループ発表およびディスカッション
 - 第4回 グループ発表およびディスカッション
 - 第5回 グループ発表およびディスカッション
 - 第6回 グループ発表およびディスカッション
 - 第7回 グループ発表およびディスカッション
 - 第8回 グループ発表およびディスカッション
 - 第9回 グループ発表およびディスカッション
 - 第10回 グループ発表およびディスカッション
 - 第11回 グループ発表およびディスカッション
 - 第12回 グループ発表およびディスカッション
 - 第13回 グループ発表およびディスカッション
 - 第14回 試験・ふりかえり
- その他: 予習・復習およびグループワーク

秋学期

- 第1回 イン트로ダクション
 - 第2回 グループ発表およびディスカッション
 - 第3回 グループ発表およびディスカッション
 - 第4回 グループ発表およびディスカッション
 - 第5回 グループ発表およびディスカッション
 - 第6回 グループ発表およびディスカッション
 - 第7回 グループ発表およびディスカッション
 - 第8回 グループ発表およびディスカッション
 - 第9回 グループ発表およびディスカッション
 - 第10回 グループ発表およびディスカッション
 - 第11回 グループ発表およびディスカッション
 - 第12回 グループ発表およびディスカッション
 - 第13回 グループ発表およびディスカッション
 - 第14回 試験・ふりかえり
- その他: 予習・復習およびグループワーク

*あくまで予定ですので、授業形式・計画を変更する可能性があります。

成績評価方法:

以下の3点について、総合的に判断し評価を行う。

平常点(出席状況・授業参加度・毎回のリアクションペーパーなど) 25%

プレゼンテーション 40%

学期末試験 35%

テキスト(教科書):

教科書は指定しませんが、法律と言語学に関するエッセイや論文等を使用します。テキストの配布は授業支援上にアップロードしますので、各自で印刷し、授業にご持参下さい。詳細は、初回の授業でご説明いたします。

担当教員から履修者へのコメント:

- ・本授業は全回対面授業を実施します。
- ・初回授業には必ず出席してください。グループ作りやテキストの範囲指定を行います。
- ・テキストの指定範囲を読解し、プレゼンテーションを準備する時間を十分に確保できる学生さんをお待ちしています。
- ・本授業では「法律」及び「言語学」に関連する教材を使用する予定です。このようなテーマに関心のある学生さんを歓迎します。
- ・3回以上の欠席は認めません。

質問・相談:

授業前後およびメールにてお受けします。連絡先メールアドレスは初回授業でお知らせいたします。

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

リスニング・リーディングのトレーニング [C]

春学期・秋学期: 水4/水5

足立 公平

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

*ウォームアップ

毎回授業の始めに英語学習者が間違え易いポイント、ジョーク、名言などでウォームアップします。

*リスニング

春学期は、前半で基礎的な音のルールを復習した後、短い文章(150語程度)を題材にリスニングの基礎的訓練を行ないます。秋学期の前半は、引き続き短い文章を題材に、後半では、英語ニュース(CNN)を利用し、設問、ディクテーションを通して普通の速さの英語に慣れる訓練を行ないます。

*リーディング

学生の皆さんが興味を持って読めるであろう題材を扱ったものを精読します。

授業の計画:

【春学期】

- 第1回 イン트로ダクション
 - 第2回 音のルール1、リーディング演習1
 - 第3回 音のルール2、リーディング演習2
 - 第4回 音のルール3、リーディング演習3
 - 第5回 音のルール4、リーディング演習4
 - 第6回 音のルール5、リーディング演習5
 - 第7回 リスニング演習1、リーディング演習6
 - 第8回 リスニング演習2、リーディング演習7
 - 第9回 リスニング演習3、リーディング演習8
 - 第10回 リスニング演習4、リーディング演習9
 - 第11回 リスニング演習5、リーディング演習10
 - 第12回 リスニング演習6、リーディング演習11
 - 第13回 リスニング演習6、リーディング演習12
 - 第14回 まとめ
- その他 課題

【秋学期】

- 第1回 イン트로ダクション
- 第2回 リスニング演習1、リーディング演習1

- 第3回 リスニング演習2、リーディング演習2
- 第4回 リスニング演習3、リーディング演習3
- 第5回 リスニング演習4、リーディング演習4
- 第6回 リスニング演習5、リーディング演習5
- 第7回 リスニング演習6、リーディング演習6
- 第8回 リスニング演習7、リーディング演習7
- 第9回 リスニング演習8、リーディング演習8
- 第10回 リスニング演習9、リーディング演習9
- 第11回 リスニング演習10、リーディング演習10
- 第12回 リスニング演習11、リーディング演習11
- 第13回 リスニング演習11、リーディング演習12
- 第14回 まとめ

その他 課題

成績評価方法:

*試験の結果(約70%)

*出席状況および授業態度による評価(約30%)

(授業中及び授業外で与えられた課題をこなしていない場合には出席席を減点します)

テキスト(教科書):

使用しません。毎回こちらで資料を用意します。

参考書:

『英語リスニングのコツ』(ジオス編集部、ジオス、2000年、1,900円)

『英語を聞き取るリスニングのコツ』(リサ・ヴォート、ノヴァ、1999年、1,600円)

『実践ビジネス英語』(NHK出版、400円)

『CNN English Express』(朝日出版社、1440円)

担当教員から履修者へのコメント:

語学力の向上は、授業の中だけでは望みません。授業外でも積極的に英語に接する機会を作ってください。

質問・相談:

質問・相談は授業終了後に受けます。または次のアドレスまで。

adac*keio.jp (adacとkeioの間の*に@を入れる)

adac*grace.ocn.ne.jp (adacとgraceの間の*に@を入れる)

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

Web自動翻訳を検証する[C][P]

春学期・秋学期: 水3/水4/水5

石塚 政行

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

機会翻訳は近年急速に精度が向上しており、ウェブ上で利用できる無料の自動翻訳サービスにも、場合によっては実用に堪える結果を出せるものが存在します。

しかし、ほとんどの場合、翻訳結果には内容の誤り、不自然な言語使用、翻訳の抜けなどが含まれているのが現状です。この授業では、複数のウェブ自動翻訳サービスを利用して英文を日本語に訳し、その結果を原文と照らし合わせることで、上記のような不適切な点を発見し、より適切な日本語訳を考えます。

翻訳の対象とする英文は段階に応じて教員が選定し、データあるいは印刷物として配布します。ただし、*Is That a Fish in Your Ear?* (David Bellos, 2011, Penguin)から多くを取る予定です。

春学期の第1回は、授業の考え方・進め方について教員が説明をします。第2回以降は、複数の担当者を決めて指定された英文パラグラフの(1)自動翻訳、(2)その分析、(3)修正した翻訳を発表してもらいます。発表の評価は、内容を正確に理解し、わかりやすく説明できているかどうかによって判断します。

発表担当者以外の人には、毎回の範囲に関する質問を一つ以上提出してもらいます。

授業の計画:

【春学期】

- 第1回 イントロダクション
- 第2回 百科事典の項目
- 第3回 百科事典の項目
- 第4回 ニュース記事

第5回 ニュース記事

第6回 *Is That a Fish in Your Ear?*

第7回 *Is That a Fish in Your Ear?*

第8回 *Is That a Fish in Your Ear?*

第9回 *Is That a Fish in Your Ear?*

第10回 *Is That a Fish in Your Ear?*

第11回 小説

第12回 小説

第13回 小説

第14回 前期のまとめ

その他 授業で扱いきれなかった内容についての補足

【秋学期】

第1回 百科事典の項目

第2回 百科事典の項目

第3回 ニュース記事

第4回 ニュース記事

第5回 *Is That a Fish in Your Ear?*

第6回 *Is That a Fish in Your Ear?*

第7回 *Is That a Fish in Your Ear?*

第8回 *Is That a Fish in Your Ear?*

第9回 *Is That a Fish in Your Ear?*

第10回 小説

第11回 小説

第12回 *Is That a Fish in Your Ear?*

第13回 *Is That a Fish in Your Ear?*

第14回 後期のまとめ

その他 授業で扱いきれなかった内容についての補足

成績評価方法:

発表(20点)

質問提出(40点)

期末レポート(40点)

以上100点満点

テキスト(教科書):

なし

参考書:

Bellos, David. 2011. *Is That a Fish in Your Ear?: Translation and the Meaning of Everything*. Penguin. ISBN: 9780865478763

質問・相談:

初回授業時にメールアドレスを知らせます。

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

英語で書かれた詩で英語を学ぶ[C][P]

春学期・秋学期: 火4/火5

井上 和樹

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業では、英語で書かれた詩に触れながら、英語を総合的に学んでいきます。詩に苦手意識があるという方は少なくないと思いますが、英語で書かれた詩を通じて英語の文法を改めて考え、詩のリズムや音を学ぶことで英語の音楽性を学び、詩の批評を読むことでクリティカルシンキングも鍛えます。また、学習の中で、さまざまな英語圏文化についても触れることとなります。英語で書かれた詩がテーマということで、後期には日本の俳句や日本語の詩などの英訳も読むことで言葉に対する感性を磨きつつ、授業の最後には実際にみなさんに英語で短い詩を書いてもらうことで、クリエイティブライティングの実践も行います。このように、この授業では総合的に英語の学習を行うことで、英語力の強化を目指します。

授業の計画:

【春学期】

授業計画(1回) イントロダクション

授業計画(2回) William Wordsworth "The Daffodils"

授業計画(3回) William Wordsworth "A Slumber Did My Spirit Seal"

授業計画(4回) William Wordsworth. *The Prelude*

授業計画(5回) S.T. Coleridge "Kubla Khan"

授業計画(6回) P.B. Shelley "Ode to the West Wind"

授業計画(7回) P.B. Shelley "To a Sky-Lark"

授業計画(8回) Keats "Ode to a Nightingale"

授業計画 (9回) Keats "To Autumn"
授業計画 (10回) Walt Whitman *Leaves of Grass*
授業計画 (11回) Alfred Tennyson *In Memoriam*
授業計画 (12回) Elizabeth Barrett Browning *Sonnets from the Portuguese*
授業計画 (13回) Emily Dickinson "Because I could not stop for Death"
授業計画 (14回) 期末エッセイ用資料配布+期末エッセイ準備
その他 課題・エッセイ

【秋学期】

授業計画 (1回) イントロダクション
授業計画 (2回) Robert Frost "Stopping by Woods on a Snowy Evening"

授業計画 (3回) W.B. Yeats "The Lake Isle of Innisfree"
授業計画 (4回) W.B. Yeats "He Wishes for the Cloths of Heaven"
授業計画 (5回) W.B. Yeats "Easter, 1916"
授業計画 (6回) T.S. Eliot "La Figlia Che Piange"
授業計画 (7回) Langston Hughes "The Weary Blues"
授業計画 (8回) Carol Ann Duffy "Small Female Skull"
授業計画 (9回) Louise Glück "The Wild Iris"
授業計画 (10回) Ezra Pound "In a Station of the Metro" + 俳句の翻訳について
授業計画 (11回) 映画 *Frozen* (『アナと雪の女王』)より "Let it Go"と日本語訳の比較
授業計画 (12回) 詩の実作
授業計画 (13回) 詩の実作の発表・ディスカッション
授業計画 (14回) 期末エッセイ用資料配布+期末エッセイ準備
その他 課題・エッセイ

成績評価方法:

【春学期、秋学期共通】

I. 毎週の課題: 35%

II. エッセイ: 65%

テキスト(教科書):

詩のテキストはインターネットで参照できる詩のテキストのサイトリンクやPDFファイルをLMSにアップロードします。受講者の興味に合わせて読む詩のテキストを変えることができるかもしれませんが、その際は適宜お知らせします。

参考書:

適宜授業で紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

英語で書かれた詩自体を今まで読んでこなかった方もできるだけついてこれるように調整は行いますが、それでもやや授業の難易度自体は高いかもしれません。

ただ、英語で書かれた詩を読むと、英語でしか味わうことのできない新しい世界を知ることができ、また、英訳を通じることで新たに日本語についての理解が深まるなど、総合的に言葉自体への感性を磨くことができると思います。特に英語はコミュニケーションツールとしてのプラクティカルな面が強調されがちな今日このごろですが、言葉そのものに生きた人間の声や文化があることを少しでも感じられるようになるとういと思っています。

質問・相談:

質問や相談は kazuki.inoue@keio.jp をお願いします。

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

現代社会を取り巻く問題を読み解く [C][P]

春学期・秋学期: 火3/火4

及川 一美

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

現代社会の抱える問題を理解できる英語スキルの向上、また英語で自律的に考えられることを目指します。TED talksなどのオンラインメディアを通じて様々なトピックに触れ文化的背景を学ぶことで視野を広めます。

①教科書: 指定教科書はありません。TED talkや動画などを教材に致します。

②プレゼンテーション: 時事性に富み、社会的に賛否両論あるテーマを各自で選択し調べ最終的に発表を行います。論理的な構成を行い、視覚訴求力のある資料を作成し原稿と音声付き資料を提出します。

③小テスト: 語彙や文法・理解を深めるための小テストが随時あります。

④課題: 授業で取り扱った以外であなたに興味のあるTED talkを選びレポートを提出します。

授業の計画:

春学期

[第1回]What is your major? Guessing Majors at Boston College

[第2回]Audrey Tang: How digital innovation can fight pandemics and strengthen democracy

[第3回]Tom Gruber: How AI can enhance our memory, work and social lives

[第4回]Review Quiz

[第5回]Your Favorite TED talk

[第6回]Arthur Benjamin: The magic of Fibonacci numbers

[第7回]Michael Green :How We Can Make the World a Better Place by 2030

[第8回]Presentation (visual effects)

[第9回]Presentation (plagiarism)

[第10回]Presentation Day 1

[第11回]Presentation Day 2

[第12回]Presentation Day 3

[第13回]Alex Gendler: Can you solve the Alice in Wonderland riddle?

[第14回]Shirota Beate Gordon on Constitution / Review Quiz

[その他]e-learning (Quizlet, TED talks, Research, etc.)

秋学期

[第1回]A Day in the Life of Oxford Student

[第2回]Nina Tandon: Could tissue engineering mean personalized medicine?

[第3回]Danielle Feinberg: The magic ingredient that brings Pixar movies to life.

[第4回]Hugh Herr: The new bionics that let us run, climb and dance

[第5回]Richard St. John:8 secrets of success

[第6回]Marieke Vervoort: Paralympics to Euthanasia

[第7回]Presentation (Structure)

[第8回]Presentation (audience-oriented)

[第9回]Presentation Day 1

[第10回]Presentation Day 2

[第11回]Presentation Day 3

[第12回]Presentation Day 4

[第13回]Kevin Slavin: How algorithms shape our world

[第14回]Making the Japanese Constitution: Col. Kades / Review Quiz

[その他]e-learning (Quizlet, TED talks, Research, etc.)

成績評価方法:

1.課題と小テスト 40

2.参加点 20

3.プレゼンテーション 40

評価は上記を総合的に判断したものととなります。

授業内容・評価は緊急事態宣言の成り行き次第で変更する可能性があります。

テキスト(教科書):

指定教科書はありません。CANVASから授業資料を配布いたします。

担当教員から履修者へのコメント:

※この授業は対面授業ですが、感染状況に応じてオンラインになることもあります。ただし対面とオンラインを各自が選べるハイブリッド型ではありませんので、指示された方式への出席参加が3分の2以上必要となります。

※しばらくはコロナウィルス禍で予想外の事態が考えられるため、状況に応じて授業内容・課題・評価等について変更の可能性があります。毎回CANVASで授業予定の確認をお願いいたします。

※準備学修時間は週に4時間ほど教科書の予習・復習やプレゼンテーション発表のためのリサーチや作成時間がかかります。授業支援やCANVASの通知を確認した上で準備を行い、毎回授業に参加し、担当講師の指示に従ってください。

質問・相談:

授業後やZOOMで質問や相談を受け付けます。ただしPC操作の技術的なアドバイスはできません。

英語第Ⅲ 1単位(春学期)
英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

精読、音読、翻訳 [C][P]
春学期・秋学期: 水4

小田 透

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業は、翻訳と音読をとおり、英文の精読の仕方を身に付けることを目的とします。課題テキストを毎回10頁ほど読み進めながら、講義形式でその大意をつかんだあと、数パラグラフから数ページを、文法と文体の両方の観点から精読します。その後、精読を、翻訳というかたちで日本語としてアウトプットし、訳文をふまえながら、英語のアウトプットとして音読に取り組みます。翻訳のさいはGoogle TranslateやDeepLといった機械翻訳も利用し、音読のさいは自己の朗読を録音し、アウトプットしたものを自身で分析したり、グループで議論したりしながら、精読を自意識的な方法論として内面化することを目指します。

取り扱うテキストは、Martin Hägglundの*This Life: Secular Faith and Spiritual Freedom* (2019) で、これを1年かけて通読します。一般読者を想定して書かれた思想書で、世俗的な時代における信念や自由の可能性を論じています。英語圏の現代思想の最前線に位置する本書は様々な賞を受けていますが、ノンネイティブによるテキスト—現在イェール大学教授のHägglundはスウェーデン出身—ということもあり、英語自体は比較的ブレンです。

個人面談やグループワークを取り入れつつ、対面とオンラインを使い分けながら進めていきます。3回ごとに、定着度を確認するためのオンライン面談を行います。

授業の計画:

春学期

- 第1回: なぜ翻訳と音読から精読にアプローチするのか
 - 第2回: 課題テキスト*This Life*の概要
 - 第3回: Introduction
 - 第4回: Introduction (つづき)
 - 第5回: Introduction (つづき)
 - 第6回: まとめ
 - 第7回: Part I
 - 第8回: Part I (つづき)
 - 第9回: Part I (つづき)
 - 第10回: まとめ
 - 第11回: Part I (つづき)
 - 第12回: Part I (つづき)
 - 第13回: Part I (つづき)
 - 第14回: まとめ
- その他: 翻訳と録音と自己分析レポート、グループワーク、中間・期末課題

秋学期

- 第1回: 前期の振り返り
 - 第2回: 課題テキスト*This Life*のPart II概要
 - 第3回: Part II
 - 第4回: Part II (つづき)
 - 第5回: Part II (つづき)
 - 第6回: まとめ
 - 第7回: Part II (つづき)
 - 第8回: Part II (つづき)
 - 第9回: Part II (つづき)
 - 第10回: まとめ
 - 第11回: Part II (つづき)
 - 第12回: Part II (つづき)
 - 第13回: Part II (つづき)
 - 第14回: まとめ
- その他: 翻訳と録音と自己分析レポート、グループワーク、中間・期末課題

成績評価方法:

出席と授業参加 (10%)、毎週の課題 (60%)、中間・期末課題 (30%)
テキスト(教科書):

Hägglund, Martin (2019). *This Life: Secular Faith and Spiritual Freedom*. Anchor Books. ISBN: 978-1-101-87373-1

参考書:

『英語耳—発音ができるとリスニングができる』改訂3版 松澤喜好著 KADOKAWA 2021年 ISBN: 978-4-04-111259-5
『英文翻訳術』安西徹雄著 筑摩書房 1995年 ISBN: 978-4-480-08197-1

担当教員から履修者へのコメント:

毎週10頁程度の予習は必須で、予習箇所についての内容理解を問う提出課題があります。それに加えて、翻訳と音読というアウトプット課題と、自己のアウトプットにたいする分析省察レポートが求められます。

英語圏の現代思想、翻訳や音読に興味のある学生の参加を期待します。

授業は対面を基本としますが、4-5回はオンライン授業(リアルタイム形式)になる予定です。初回授業は対面で開催し、今後の授業運営について説明しますので、必ず出席してください。

3回の遅刻は1回の欠席とみなし、3分の1以上の欠席は不可とします。

質問・相談:

メール (t-oda@keio.jp) で受け付けます。

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

強勢、抑揚、発音 [C][P]
春学期・秋学期: 水5

小田 透

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業は、英語の音声的な側面、とりわけ強勢、抑揚、発音の3つの観点に照準を合わせ、英語に内在するリズムやメロディーを、ノンネイティブが、自意識的かつ方法論的に再現するために必要な能力を身に付けることを目的とします。さまざまなジャンルの短めの文章を細かく分析したうえで朗読を行い、録音して自己分析し、レポートを書き、こちらからのフィードバックを踏まえて矯正していくというサイクルを繰り返していきます。最終的には、初見の文章を、自然な英語のリズムやメロディーにのせてストレスなく発話できるようになることをめざします。

個人面談やグループワークを取り入れつつ、対面とオンラインを使い分けながら進めていきます。3回ごとに、定着度を確認するためのオンライン面談を行います。

授業の計画:

春学期

- 第1回: 強調、抑揚、発音について
 - 第2回: 英語のリズムとメロディー
 - 第3回: 弱強のリズム
 - 第4回: 弱強のリズム (続き)
 - 第5回: 弱強のリズム (続き)
 - 第6回: まとめ
 - 第7回: 語末や文末の子音と長母音
 - 第8回: 語末や文末の子音と長母音 (続き)
 - 第9回: 語末や文末の子音と長母音 (続き)
 - 第10回: まとめ
 - 第11回: 音高変化によるメロディーと二重母音
 - 第12回: 音高変化によるメロディーと二重母音
 - 第13回: 音高変化によるメロディーと二重母音
 - 第14回: まとめ
- その他: 録音と自己分析レポート、中間・期末課題

秋学期

- 第1回: 前期の振り返り
- 第2回: 音の変化とリズム
- 第3回: 音の連結・音の脱落
- 第4回: 音の連結・音の脱落 (続き)
- 第5回: 音の連結・音の脱落 (続き)
- 第6回: まとめ
- 第7回: シラブルとリズム
- 第8回: シラブルとリズム (続き)
- 第9回: シラブルとリズム (続き)

第10回: まとめ
第11回: グループワーク
第12回: グループワーク (続き)
第13回: グループワーク (続き)
第14回: まとめ
その他: 録音と自己分析レポート、グループワーク、中間・期末課題

成績評価方法:
出席と授業参加 (10%)、毎週の課題 (60%)、中間・期末課題 (30%)
テキスト(教科書):
『英語リスニングの鬼100則』 米山明日香著 明日香出版社 2020年 ISBN : 978-4-7569-2103-1

参考書:
『英語耳—発音ができるとリスニングができる』改訂3版 松澤喜好著 KADOKAWA 2021年 ISBN : 978-4-04-111259-5
『理想のリスニング——「人間的モヤモヤ」を聞きとる英語の世界』阿部公彦著 東京大学出版会 2020年 ISBN : 978-4-13-083081-2

担当教員から履修者へのコメント:
課題テキストの朗読と録音、自身の録音についての分析レポート、こちらからのフィードバックを踏まえた再録音と再レポートの提出を、学期をとおして求めます。また、こちらの選んだいくつかの英語の音を、自習形式で学習していくことを求めます。

英語の発音を基礎からやり直してみたい学生、根気強く自分の録音を聞き直して自己矯正していける学生の参加を期待します。

授業は対面実施を基本としますが、4-5回はオンライン授業 (リアルタイム形式) になる予定です。初回授業は対面で実施し、今後の授業運営について説明するので、必ず出席してください。

3回の遅刻は1回の欠席とみなし、3分の1以上の欠席は不可とします。
質問・相談:
メール (t-oda@keio.jp) で受け付けます。

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

意見力 [P]
春学期・秋学期: 水3

狩野 みき

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

いくら発音がうまくても、文法や語彙力があっても、英語で、英語らしいコミュニケーションをとるためには「意見力」がなくてはダメです。意見力とは、自分できちんと考え、自分の意見をきちんと発信し、他の人と議論することで自分や他人の意見をさらなる高みに引き上げる力のことです。この授業では、グローバル時代に必須な「意見力」を徹底的に磨きます。

授業では、まずは日本語で意見力を徹底的に身につけ、徐々に英語での発信へと移行していきます。意見力の進化形ともいえるプレゼンについても、実践的に指導します。100% 実践型演習授業ですから、毎回必ず「発信」する心づもりのある学生のみ、受講してください。

授業の計画:

【春学期】

第1回 インTRODクシヨソ／意見・考えるという行為・発信者責任
第2回 「失敗の履歴書」を書こう
第3回 結論と根拠を見抜く
第4回 意見vs事実(1)
第5回 意見vs事実(2)
第6回 認知バイアス(1)
第7回 認知バイアス(2)
第8回 意見のバージョンアップ法
第9回 暗黙の前提(1)
第10回 暗黙の前提(2)
第11回 6 Thinking Hatsを使って議論する
第12回 わかったつもり
第13回 多角的に考えた意見とは
第14回 実践: 多角的に考える
その他 e-learning

【秋学期】

第1回 春学期の復習
第2回 プレゼンの極意
第3回 プレゼン(1)「あり得ないビジネス・プラン」
第4回 プレゼン(2)「一度会ってみたい憧れのあの人にthank-you video letter」
第5回 プレゼン(3)「Fairy-tale reimagined」
第6回 プレゼン(4)「Everything is Alive」
第7回 プレゼン(5)「500円で最大の価値を」
第8回 プレゼン(6)「人生でいちばん辛かったことをどう乗り越ええましたか」
第9回 英語なりきりプレゼン
第10回 プレゼン(7)「意見にどこまで覚悟を持てるか」
第11回 英訳の落とし穴
第12回 効果的なオンラインプレゼン法とは
第13回 最終プレゼン準備
第14回 最終プレゼン

その他 e-learning

成績評価方法:

平常点 (課題提出・出席・授業への貢献度) ---80%

期末課題---20%

テキスト(教科書):

なし

参考書:

『世界のエリートが学んできた「自分で考える力」の授業 [増補改訂版]』 狩野みき著 PHP文庫 2020年 ISBN: 978-4569900957

『アメリカの大学生が学んでいる「伝え方」の教科書』 スティーブン E. ルーカス著 狩野みき監訳 SBクリエイティブ 2016年 ISBN: 978-4797383423

担当教員から履修者へのコメント:

学生の習熟度に応じて、上記シラバス内容は若干変更になる可能性があります。

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

社会問題を英語で考える [C][P]
春学期・秋学期: 土2

叶澤 恵

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

①授業の前半は、現代社会における様々なトピックを取り上げる。配布の資料、テキストを通じて語彙力、読解力、聴解力を伸ばしながら、オピニオンの分析と効果的な表現の方法を学ぶ。

②授業の後半は、受講者に、各自関心のある社会問題を取り上げ、前期、後期1回ずつ英語によるプレゼンテーションを行ってもらう。その後、各トピックについてグループでディスカッションを行い、英語でオピニオンを表現する練習を積む。後期はディベートもを行い、スピーキングに対する自信をつけていく。

*原則として対面授業を実施しますが、状況に応じて5~7回オンライン授業を行います。オンライン授業はオンデマンドが中心となりますが、30~60分のZoom Meetingへの参加が必要な場合もあります。詳しくは初回授業(対面)で説明します。

授業の計画:

【春学期】

第1回 Introduction (授業の進め方、英語の学習法)
第2回 文法力確認テスト
第3回 Presentation (Essay)の形式 / Unit 1
第4回 Unit 1 Discussion / 音読テスト
第5回 Unit 2 / Presentation開始
第6回 Unit 2 Discussion
第7回 Unit 3 / 文型テスト
第8回 Unit 3 / Discussion
第9回 語彙テスト / Unit 4
第10回 Unit 4 / Discussion
第11回 Unit 6 / 文の要素テスト
第12回 Unit 6 / Discussion
第13回 Text Review
第14回 Final Test / feedback
その他 Make-up class or assignment

【秋学期】

- 第1回 秋学期グループ分け、Presentationの順番を決定 / Unit 7
 - 第2回 Unit 7 Discussion
 - 第3回 Unit 8 / Presentation開始
 - 第4回 音読テスト/Unit 8 Discussion
 - 第5回 Unit 9 / Debate準備
 - 第6回 Unit 9 Discussion
 - 第7回 語彙テスト/Unit 10 / Debate準備
 - 第8回 Unit 10 Discussion / Debate準備
 - 第9回 Practice Debate / Unit 11
 - 第10回 Practice Debate / Unit 12
 - 第11回 Practice Debate
 - 第12回 Final Debate
 - 第13回 Text Review
 - 第14回 Final Test / feedback
- その他 Make-up class or assignment

成績評価方法:

成績は、平常点(出席、プレゼンテーション、後期はディベートも含める、グループディスカッション)と、中間試験、期末試験を総合して評価する。

テキスト(教科書):

Ichizo Ueda, Toshiki Ueda, Chiaki Taoka, Akiko Nakasaka, Sachi Kashimoto *Take a Stance --Discussing Today's Controversial Issues 2*. Cengage. 2018. ISBN:978-4-86312-333-5

担当教員から履修者へのコメント:

毎回の授業への積極的な参加を重視するので、社会問題に関心のある、意欲のある学生に受講してほしい。テキストを必ず用意すること。春学期に各自一回プレゼンテーションを行い、秋学期にはDebateを行う予定である。詳しい授業の進め方は初回授業(対面)で説明するので必ず出席してください。

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

(春) 多国籍企業 [C]

(秋) ビジネスと英語 [C]

春学期・秋学期: 火3/火4

小屋 逸樹

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

(本授業は100%対面式の授業とする予定です)

<春学期>

国際ビジネスの世界で活躍する世界の多国籍企業に焦点をあて、その起業精神、沿革、現代社会との関連性などを見ます。教科書を指定しますので、受講者は各トピックの発表者としてその内容を理解し、さらに発展的に内容補充しなければなりません。具体的には、教室の前に出て自分の担当部分に関して授業を行います。授業の進め方については、初回の授業で細かく説明します。

<秋学期>

「ビジネスと英語」というテーマで日米企業のトランスアクションを追いながら、joint ventureに向けてのビジネス交渉プロセスを見ます。国際ビジネスにおける様々の局面を概観しながら、日本と欧米企業の商習慣の違いや、交渉での留意点、会社での人間関係といったテーマを取り上げます。各学生は、自分の担当部分に関して、教壇に立って授業を行います。具体的な授業の進め方については、初回の授業時に説明します。尚、教材のプリントはこちらで用意しますので、買い求める必要はありません。

授業の計画:

【春学期】

- 第1回 イントロダクション
- 第2回 Sony
- 第3回 Gucci
- 第4回 Sam Walton
- 第5回 IKEA
- 第6回 Carnegie
- 第7回 The Body Shop
- 第8回 Google
- 第9回 Amazon

- 第10回 Premji
- 第11回 Starbucks
- 第12回 Lenovo
- 第13回 Apple
- 第14回 まとめ/総括・試験
- その他 課題・オフィスアワー

【秋学期】

- 第1回 イントロダクション
- 第2回 ビジネス・コレスポンドンス1
- 第3回 ビジネス・コレスポンドンス2
- 第4回 ビジネス・コレスポンドンス3
- 第5回 ビジネス・コレスポンドンス4
- 第6回 ビジネス・コレスポンドンス5
- 第7回 ビジネス・コレスポンドンス6
- 第8回 ビジネス・コレスポンドンス7
- 第9回 ビジネス・コレスポンドンス8
- 第10回 ビジネス・コレスポンドンス9
- 第11回 ビジネス・コレスポンドンス10
- 第12回 ビジネス・コレスポンドンス11
- 第13回 ビジネス・コレスポンドンス12
- 第14回 まとめ/総括・試験
- その他 課題・オフィスアワー

成績評価方法:

平常点(毎回の発表点と出欠状況)と授業内試験

テキスト(教科書):

<春学期> 『ワールドビジネスの光と蔭』 Benett, Shimabayashi and White 著、成美堂、

ISBN978-4-7919-5083-6 C1082

<秋学期> コピーを配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

出欠、遅刻、私語などに関して最初の授業で詳しく説明します。

質問・相談:

随時

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

Polish Your English Through Films [C][P]

春学期・秋学期: 火3/火4

柴田 恭子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course aims at developing the participants' English speaking skill by using film works.

The films planned for the spring semester are: *The Devil Wears Prada* (David Frankel, 2006), *The King's Speech* (Tom Hooper, 2010) and *The Reader* (Stephen Daldry, 2008), while those for the fall semester are: *Spotlight* (Tom McCarthy, 2015), *On the Basis of Sex* (Mimi Leder, 2018) and *This Is England* (Shane Meadows, 2006).

Following synopsis reading and vocabulary quizzes, each film's crucial scenes are screened, and the participants are asked to answer the questions posed by the lecturer. Using fragments from the script, they will practice paired reading, and in a group of 4-5 people, they will talk about the characters' personality and feelings, the social and historical backgrounds of the film, and the meanings of the film's message to contemporary Japanese society. Roles are given to the group members in rotation, and the leaders will present the important points of the discussion to the class.

At the end of the semester, each group chooses one of the 3 films and sets a relevant theme of the members' interest to prepare and conduct a 20-30 min. group presentation.

The course will be held mainly in English, while explanation in Japanese will be offered whenever necessary. By enjoying pair work and group work, the students will develop a special brain circuit for speaking and thinking in English.

授業の計画:

Spring Semester

1. Introduction
2. *The Devil Wears Prada* (1)

3. *The Devil Wears Prada* (2)
 4. *The Devil Wears Prada* (3)
 5. *The Devil Wears Prada* (4)
 6. *The King's Speech* (1)
 7. *The King's Speech* (2)
 8. *The King's Speech* (3)
 9. *The King's Speech* (4)
 10. *The Reader* (1)
 11. *The Reader* (2)
 12. *The Reader* (3)
 13. Final Group Presentations (1)
 14. Final Group Presentations (2)
- Other: Office Hours

Fall Semester

1. Introduction, *Spotlight* (1)
 2. *Spotlight* (2)
 3. *Spotlight* (3)
 4. *Spotlight* (4)
 5. *On the Basis of Sex* (1)
 6. *On the Basis of Sex* (2)
 7. *On the Basis of Sex* (3)
 8. *On the Basis of Sex* (4)
 9. *This Is England* (1)
 10. *This Is England* (2)
 11. *This Is England* (3)
 12. Final Group Presentations (1)
 13. Final Group Presentations (2)
 14. Final Group Presentations (3)
- Other: Office Hours

成績評価方法:

In-class activities (40%), assignment submission (30%) and a final presentation (30%). When missing more than 3 classes, the student's grade will be automatically lowered.

テキスト(教科書):

There is no textbook for the course. Fragments of film scripts, worksheets and other materials will be distributed by the lecturer.

担当教員から履修者へのコメント:

I welcome any students who are motivated to develop their English skills by discussing films.

質問・相談:

Please feel free to ask questions concerning the course anytime.

英語第Ⅲ 1 単位(春学期)

英語第Ⅲ 1 単位(秋学期)

America's Civil Rights Movement [C] [P]

春学期・秋学期: 水4/水5

デル・ベッキオ, アンソニー

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This is a course of study into the history of the African American civil rights movement in the United States from 1954 to 1985. The course is based on the award-winning documentary series *Eyes on the Prize* produced by the Public Broadcasting Service.

Students enrolled in the course will be engaged in a wide range of activities covering the four language skill areas -- listening, reading, speaking, and writing. Specific activities will include documentary film viewing and analysis, extensive reading, group discussions, and expository writing. Through the class website, students will be assigned documentary episode viewing and background reading with discussion questions to increase their knowledge and confidence about the topics and to provide a solid basis for class work. The website will also be used for students' comments and opinions about the topic and to provide a means of ongoing communication between the students and the teacher.

授業の計画:

Spring Semester

Week 1: Course Introduction

Week 2: Episode 1: Awakenings (1954-1956) Documentary viewing/ Study Guide Reading/Blog Comments

Week 3: Episode 1: Awakenings (1954-1956) In-class discussion activities based on the Study Guide

Week 4: Episode 2: Fighting Back (1957-1962) Documentary viewing/ Study Guide Reading/Blog Comments

Week 5: Episode 2: Fighting Back (1957-1962) In-class discussion activities based on the Study Guide

Week 6: Episode 3: Ain't Scared of Your Jails (1960-1961) Documentary viewing/ Study Guide Reading/Blog Comments

Week 7: Episode 3: Ain't Scared of Your Jails (1960-1961) In-class discussion activities based on the Study Guide

Week 8: Episode 4: No Easy Walk (1961-1963) Documentary viewing/ Study Guide Reading/Blog Comments

Week 9: Episode 4: No Easy Walk (1961-1963) In-class discussion activities based on the Study Guide

Week 10: Episode 5: Mississippi: Is This America? (1963-1964) Documentary viewing/ Study Guide Reading/Blog Comments

Week 11: Episode 5: Mississippi: Is This America? (1963-1964) In-class discussion activities based on the Study Guide

Week 12: Episode 6: Bridge to Freedom (1965) Documentary viewing/ Study Guide Reading/Blog Comments

Week 13: Episode 6: Bridge to Freedom (1965) In-class discussion activities based on the Study Guide

Week 14: Final Evaluation

Other: Office Hours

Fall Semester

Week 1: Fall Term Course Introduction

Week 2: Episode 7: The Time Has Come (1964-66) Documentary viewing/ Study Guide Reading/Blog Comments

Week 3: Episode 7: The Time Has Come (1964-66) In-class discussion activities based on the Study Guide

Week 4: Episode 8: Two Societies (1965-68) Documentary viewing/ Study Guide Reading/Blog Comments

Week 5: Episode 8: Two Societies (1965-68) In-class discussion activities based on the Study Guide

Week 6: Episode 9: Power! (1966-68) Documentary viewing/ Study Guide Reading/Blog Comments

Week 7: Episode 9: Power! (1966-68) In-class discussion activities based on the Study Guide

Week 8: Episode 10: The Promised Land (1967-68) Documentary viewing/ Study Guide Reading/Blog Comments

Week 9: Episode 10: The Promised Land (1967-68) In-class discussion activities based on the Study Guide

Week 10: Episode 11: Ain't Gonna Shuffle No More (1964-72)
Documentary viewing/Study Guide Reading/Blog Comments

Week 11: Episode 11: Ain't Gonna Shuffle No More (1964-72) In-class discussion activities based on the Study Guide

Week 12: Episode 12: A Nation of Law? (1968-71) Documentary viewing/ Study Guide Reading/Blog Comments

Week 13: Episode 12: A Nation of Law? (1968-71) In-class discussion activities based on the Study Guide

Week 14: Final Evaluation

Other: Office Hours

成績評価方法:

Final grading will be determined as follows:

- Bi-weekly blog comments - 30%
- Attendance/Participation at class sessions - 30%
- Final Evaluations - 40%

テキスト(教科書):

No textbook is required for this course. All necessary materials can be found at the course website:

<https://americascivilrightsmovement.wordpress.com>

参考書:

Eyes on the Prize: America's Civil Rights Years, 1954-1965

by Juan Williams and Julian Bond

ISBN-13: 978-0143124740

ISBN-10: 0143124749

担当教員から履修者へのコメント:

This course involves a combination of self-study (on demand) and in-class discussion sessions. Each episode in the series will thus be divided into one self-study session involving both documentary viewing and background reading and one in-class discussion session based on the background readings assigned and related discussion questions. Students will be guided through both phases of instruction by the teacher who will provide appropriate feedback. Self-study sessions will require approximately three to four hours of study and in-class one and a half hours.

The focus of the course is on civil rights and associated topics under the law designed to increase students' knowledge of subject areas appropriate for students in the Law Department. While the content is historical in nature and related to events that occurred in the United States, the ideas presented are timeless and are designed to sharpen students' critical thinking skills with regard to universal legal concepts and doctrines.

(Two additional episodes that are not covered in this course -- Episode 13: The Keys to the Kingdom (1974-80) and Episode 14: Back to the Movement (1979-mid 80s) -- are available on the class blog for students who are interested in furthering their study into this subject.)

質問・相談:

Students may contact the instructor via email at tdv1958@yahoo.com with questions or concerns related to the course.

英語第Ⅲ 1 単位(春学期)

英語第Ⅲ 1 単位(秋学期)

BBC のニュースで英語を学ぶ [C][P]

春学期・秋学期: 火1/火4

沼田 香穂里

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

BBC で実際に放送されたニュースをテキストにした教材を使います。ニュースを通じて背景や関連する表現を学び、それを基に英語で自分の意見を述べる練習をします。取り上げられるトピックはコロナ禍における教育・貧困、マイクロプラスチック、人種問題など日本でも論じられることの多い身近な話題です。英国との違いを知

ることで、より広い視野を持ち、自分自身の意見を構築できるようになることを目指します。

授業の計画:

【春学期】

第1回: イントロダクション

第2回: Unit 14 Cardiff, the First Carbon Neutral City in Wales

第3回: Unit 14 Cardiff, the First Carbon Neutral City in Wales

第4回: Unit 2 Treasures of the Society of Antiquaries

第5回: Unit 2 Treasures of the Society of Antiquaries

第6回: Unit 3 Changing Careers in the Pandemic

第7回: Unit 3 Changing Careers in the Pandemic

第8回: Unit 5 Plastic from Peas

第9回: Unit 5 Plastic from Peas

第10回: Unit 6 Return of the Red Kites

第11回: Unit 6 Return of the Red Kites

第12回: Unit 8 Mend More and Buy Less: London Repair Shops

第13回: Unit 8 Mend More and Buy Less: London Repair Shops

第14回: 総括・試験

その他: 課題

【秋学期】

第1回: イントロダクション

第2回: Unit 9 Swimming to Cure Dementia

第3回: Unit 9 Swimming to Cure Dementia

第4回: Unit 10 A Special Pop-up Shop on Carnaby Street

第5回: Unit 10 A Special Pop-up Shop on Carnaby Street

第6回: Unit 11 School Laptops for All

第7回: Unit 11 School Laptops for All

第8回: Unit 13 Meat Grown in the Laboratory

第9回: Unit 13 Meat Grown in the Laboratory

第10回: Unit 15 Brexit Problems at the Border

第11回: Unit 15 Brexit Problems at the Border

第12回: Unit 12 A New Nuclear Power Station

第13回: Unit 12 A New Nuclear Power Station

第14回: 総括・試験

その他: 課題

成績評価方法:

評価は、学期末試験の成績に出席と平常点を加味して決定します。各学期とも4回以上欠席した学生は学期末試験を受験する資格を失います。

テキスト(教科書):

British News Update 4. (2022). Kinseido. ISBN 978-4-7647-4146-1

担当教員から履修者へのコメント:

授業は対面で実施します。授業に積極的に参加し、自発的に意見を述べる学生を歓迎します。

質問・相談:

講義の前後に随時受け付けます。

英語第Ⅲ 1 単位(春学期)

英語第Ⅲ 1 単位(秋学期)

Leadership and Soft Skills for the 21st Century

春学期・秋学期: 火1/火2

ノブオカ, メアリー

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Business leaders have expressed dissatisfaction with the lack of soft skills among university graduates. In this course, students will build a foundation for 21st-century leadership and soft skills: goal setting, time management, problem solving and decision-making, communication skills, thinking skills, and more. These skills will help students with their short-term academic goals as well as long-term life and career goals in a competitive job market and an economy that is becoming more dependent on automation. Student will also improve their public speaking and critical thinking skills.

This class is conducted in a cooperative-learning style, in which students discuss key concepts in small groups. There will be occasional lectures with note taking. To prepare for each class, do the reading and listening

materials posted on Canvas and take the quizzes focusing on the ideas and key vocabulary to be introduced in each week's class.

授業の計画:

Spring

Session 1: General introduction to the course

Session 2: Mindset

Session 3: Values and habits

Session 4: Writing and achieving goals: the essentials for goals setting

Session 5: Time management skills: practical techniques to manage our schedule

Session 6: Leadership styles and effectiveness: natural leadership style and developing leadership skills

Session 7: Role models: the importance of role models and mentors

Session 8: Communication skills: public speaking skills

Session 9: Communication skills: the key ideas and techniques behind successful communication

Session 10: Cross-cultural communication and understanding; overcoming false assumptions

Session 11: Role Model Presentations

Session 12: Role Model Presentations

Session 13: Role Model Presentations

Session 14: Personal SWOT analysis

Other: Supplementary review and assignments

Fall

Session 1: Decision-making: various decision-making processes and when each one is most effective

Session 2: Emotional Intelligence and Review of Positive Psychology

Session 3: Project Management: managing complex projects

Session 4: Information Management: media literacy and managing information overload

Session 5: Negotiation: how to create win-win outcomes for all participants

Session 6: Stress management

Session 7: Critical thinking skills: analyzing arguments and identifying dubious claims

Session 8: Memory Improvement: techniques for remembering information and improving memory

Session 9: Practical creativity: basic skills to improve creativity and think outside the box

Session 10: Final presentations

Session 11: Final presentations

Session 12: Final presentations

Session 13: Career skills & getting ahead: direction, fulfillment and challenges

Session 14: Getting and giving feedback

Other: Supplementary review and assignments

成績評価方法:

Students will be evaluated on the following criteria: in-class participation & group contributions (40%), weekly quizzes (10%), writing assignments (self-intro, a journal, paragraph practice, speech writing) (20%); and presentation (30%).

テキスト(教科書):

There is no textbook for this class. The teacher will provide all study materials on Canvas.

担当教員から履修者へのコメント:

Students who are eager to participate in English will succeed in this course. Students are expected to bring study supplies: a writing instrument, note paper/notebook, a journal (separate from note-taking), a dictionary and vocabulary cards. Class engagement is very important. Note: Homework to prepare for class discussions will consist of reading and listening, totaling about 1 to 1-1/2 hours/week.

Presentations

Students will prepare 2 presentations using the skills they learned in this course. The spring-term presentation will be an in-depth and researched look at the student's role model. The fall-term presentation will be based on the student's research of a topic or skill from this syllabus or a topic related to leadership/soft skills.

英語第Ⅲ 1 単位(春学期)

英語第Ⅲ 1 単位(秋学期)

Exploring Culture [C][P]

春学期・秋学期: 水4/水5

プラザ タロン

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

In this course, students will be introduced to current ideas in cultural studies. Through weekly readings and discussions, students will gain confidence in organizing and presenting their thoughts in English. Students will also learn basic research techniques and methodologies and, with the full support of the instructor and fellow classmates, will conduct research and present their findings. Teamwork and helping one another will be emphasized in this class.

Objectives

At the end of this course, students will:

Have the knowledge and confidence to talk about current topics in cultural studies in English.

Have the tools necessary to research and present in English on a topic of their interest.

授業の計画:

Spring Semester

Week 1: Self-introductions/Course Goals

Week 2: Definitions of Culture

Week 3: Worldviews

Week 4: Aspects of Culture

Week 5: Groups and Communities

Week 6: Identity

Week 7: Review and Consultations

Week 8: Presentations (1)

Week 9: Values and Perspectives

Week 10: Subcultures

Week 11: Cross-cultural Comparisons

Week 12: Multiculturalism

Week 13: Review and Consultations

Week 14: Presentations (2)

Other: Coursework and Assignments

Fall Semester

Week 1: Self-introductions/Course Goals

Week 2: Globalization

Week 3: Technology

Week 4: History

Week 5: Social Issues

Week 6: Environment

Week 7: Review and Consultations

Week 8: Presentations (1)

Week 9: Belief Systems

Week 10: Language

Week 11: Individual Research Topics Part 1

Week 12: Individual Research Topics Part 2

Week 13: Review and Consultations

Week 14: Presentations (2)

Other: Coursework and Assignments

成績評価方法:

Participation (30%), Homework (15%), Presentation 1 (25%), Presentation 2 (30%)

テキスト(教科書):

Course materials will be provided in class by the instructor

担当教員から履修者へのコメント:

I look forward to working with motivated and enthusiastic students.

Regular attendance and active participation are very important in this class.

It will be necessary for students to do assignments before class so that they are prepared for the in-class discussions.

This class will involve a lot of group work. Students will be expected to work with and support one another throughout the class.

質問・相談:

I will be available for questions before and after class, as well as by e-mail.

英語第Ⅲ 1 単位 (春学期)

英語第Ⅲ 1 単位 (秋学期)

Discussion skills: with current news stories [C][P]

春学期・秋学期: 火1/火2

ブリュースター, デイモン

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course will encourage students to develop speaking skills. Students will be expected to research and discuss current news topics (from sources such as the BBC, CNN, The Guardian etc.) with their classmates. Students will prepare worksheets and lead a number of group discussions on current news topics and write reactions to these topics and class discussions (published on a class Moodle page). To help improve the ability to talk about current news topics, students will be supported with discussion phrases and be given regular vocabulary tests. There will also be regular listening activities during the semester.

The focus will be on sharing opinions, discussing issues, summarising topics and increasing understanding of global news stories.

授業の計画:

Spring Semester

Week 1: Semester overview

Week 2: Introduction to group discussions

- topics and worksheets provided by teacher

Week 3: Student-led group discussions: theme - Asia & Vocabulary Test 1

Week 4: Student-led group discussions: theme - Asia

Week 5: Student-led group discussions: theme - Europe & Vocabulary Test 2

Week 6: Student-led group discussions: theme - Europe

Week 7: Student-led group discussions: theme - Africa & Vocabulary Test 3

Week 8: Overview of final report

Week 9: Student-led group discussions: theme - Africa & Vocabulary Test 4

Week 10: Student-led group discussions: theme - Oceania

Week 11: Student-led group discussions: theme - Oceania & Vocabulary Test 5

Week 12: Student-led group discussions: theme - South America

Week 13: Student-led group discussions: theme - South America & Vocabulary Test 6

Week 14: Final test/Assignment

other: Extra reading and listening comprehension activities delivered via Moodle

Fall Semester

Week 1: Semester overview

Week 2: Introduction to group discussions

- topics and worksheets provided by teacher

Week 3: Student-led group discussions: theme - Politics & Vocabulary Test 7

Week 4: Student-led group discussions: theme - Politics

Week 5: Student-led group discussions: theme - Economics & Vocabulary Test 8

Week 6: Student-led group discussions: theme - Economics

Week 7: Student-led group discussions: theme - Science & Technology & Vocabulary Test 9

Week 8: Overview of final report

Week 9: Student-led group discussions: theme - Science & Technology & Vocabulary Test 10

Week 10: Student-led group discussions: theme - Sport

Week 11: Student-led group discussions: theme - Sport & Vocabulary Test 11

Week 12: Student-led group discussions: theme - Open

Week 13: Work on final report-Vocabulary Test 12

Week 14: Final Test/Assignment

other: Extra reading and listening comprehension activities delivered via Moodle

成績評価方法:

Contribution to class (work with classmates, attitude, English performance, effort to improve) - 20%

Worksheets for Group Discussions & facilitating the discussions - 20%

Vocabulary tests - 20%

Final Assessment/Report - 15%

Online summary & reaction papers (posted to website) - 15%

Attendance - 10%

テキスト(教科書):

Material will be provided by the instructor and created by classmates.

参考書:

The internet (especially sites like <http://news.bbc.co.uk>)

The class will also have its own website where additional references will be posted.

担当教員から履修者へのコメント:

You are expected to be proactive and willing to talk in English. Work with your classmates well and you will be able to improve your English fluency and knowledge of news events around the world.

英語第Ⅲ 1 単位 (春学期)

英語第Ⅲ 1 単位 (秋学期)

カレントイングリッシュ[C][P]

春学期・秋学期: 火3/火4

星 美季

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

このクラスは英語のリスニング、リーディングとライティングの習得上のプロセスを鑑み、これら3つの技能を向上、融合させていくものを。総合的な、今後の学業において「使える英語」を伸ばすことを目指します。積極的に学習に取り組めるよう、文化・社会・科学分野の興味深い、重要な事項についてリスニング、リーディングの演習をします。(又、同時に同じニュースが全く逆の視点で解釈されていることも学びます。)

毎回授業の前半ではBroadcast: ABC World News Tonight 4を使用しリスニングや語彙、表現を学びます。後半は教師の用意する記事やTOEFL、TOEIC等の検定問題から様々なリーディングストラテジーを練習します。これに加え秋学期からは(パラグラフ)ライティングを加え3つの技能の統合を目標にします。

授業の計画:

【春学期】

第1回 序/イントロダクション/授業概要説明/英語学習に関するアンケート/英字新聞の読み方

第2回 News Story (2018~2020)

第3回 News Story (2018~2020)、語彙演習、リーディング演習

第4回 News Story (2018~2020)

第5回 テキストNews Story 1、語彙演習、リーディング演習

第6回 テキストNews Story 2

第7回 テキストNews Story 3、語彙演習、リーディング演習

第8回 テキストNews Story 4

第9回 テキストNews Story 5、語彙練習、リーディング演習

第10回 テキストNews Story 6

第11回 テキストNews Story 7、語彙練習、リーディング演習

第12回 テキストNews Story 8、長文読解演習

第13回 News Story、語彙・リーディングまとめ

第14回 総括・まとめレポート

その他 課題

【秋学期】

第1回 テキストNews Story 9、語彙演習

第2回 (パラグラフ)ライティング1、リーディング演習

第3回 テキストNews Story 10、語彙演習

第4回 (パラグラフ)ライティング2、リーディング演習

第5回 テキストNews Story 11、語彙演習

第6回 (パラグラフ)ライティング3、リーディング演習

第7回 テキストNews Story 12、語彙演習

第8回 (パラグラフ)ライティング4、リーディング演習

第9回 テキストNews Story 13、語彙演習

第10回 テキストNews Story 14、語彙演習

第11回 テキストNews Story 15、長文読解演習1
第12回 長文読解演習2
第13回 News Story, 語彙・リーディングまとめ
第14回 総括・まとめレポート
その他 課題

成績評価方法:

期末レポートの結果および課題・出席状況による評価

テキスト(教科書):

『Broadcast: ABC World News Tonight 4』 Shigeru Yamane/Kathleen Yamane 金星堂 ISBN978-4-7647-4145-4

担当教員から履修者へのコメント:

3回以上の欠席は認めません。

毎週必ずCanvasを見てお知らせ他を確認して下さい。

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

ジョージ・オーウェル『動物農場』を英語原文で読む [C][P]

秋学期: 火1/火2

星野 真志

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、イギリスの作家ジョージ・オーウェル(1903-50)の『動物農場』(Animal Farm, 1945)を英語原文で読み、その内容について英語で自らの考えを表現することを通じて、英文読解力、批判的思考力、英語での表現力を鍛えることを目指します。予習として一章をあらかじめ読んでもらい、授業ではその内容確認をした上で、関連した質問について議論します。到達目標は、英語で書かれた小説を原文で読めるようになること、その内容について英語で反応できるようにすることです。

授業の計画:

第1回 序 なぜ『動物農場』は重要なのか? 授業の概要説明

第2回 Animal Farm, Chapter 1

第3回 Animal Farm, Chapter 2

第4回 Animal Farm, Chapter 3

第5回 Animal Farm, Chapter 4

第6回 Animal Farm, Chapter 5

第7回 Animal Farm, Chapter 6

第8回 Animal Farm, Chapter 7

第9回 Animal Farm, Chapter 8

第10回 Animal Farm, Chapter 9

第11回 Animal Farm, Chapter 10

第12回 アニメ版Animal Farm

第13回 Animal Farmに関連する文章を読む(詳細は授業の様子を見て決定) / 試験

第14回 試験の講評/振り返り/補足説明

その他 課題エッセイ(2回) / 予習・復習

成績評価方法:

作文課題(2回、各20%)、期末試験(35%)、授業への参加度・出席点(25%)。

テキスト(教科書):

英語版Animal Farmはさまざまな出版社から出ていて、基本的にはどれもよいのですが、この授業では注釈と解説の充実度を考えて、Oxford World's Classics版(David Dwan編集、2021年)を推奨します。

参考書:

授業中に指示します。

担当教員から履修者へのコメント:

Animal Farmは平易な文体で書かれていますが、それでも毎回2,000-3,000単語(5-10ページ)ほどの英語原文を読む予習が必要となります。これにどれくらいの時間を要するかは個人差があると思いますが、受講生の負担があまりに大きい場合には、一度に扱う分量を変更します。

授業は基本的に対面で実施します。

質問・相談:

授業のあとに質問・相談を受けつけます。時間を要する質問や相談についてはメールで受けつけます。

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

ジョージ・オーウェルのエッセイを英語原文で読む [C][P]

春学期: 火1/火2

星野 真志

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、イギリスの作家ジョージ・オーウェル(1903-50)の著作を英語原文で読み、その内容について英語で自らの考えを表現することを通じて、英語での読解力と表現力、および批判的思考を鍛えることを目指します。春学期はオーウェルのエッセイを読みます。オーウェルは、「ビッグ・ブラザー」「二重思考」などの用語を生んだディストピア小説『1984年』(1949)で有名ですが、優れたエッセイを多く残してあります。この授業では、そのなかから文化と政治に関するものを4つ読み、それらについて英語で作文をしてもらいます(現時点で読む予定のエッセイは、'Politics and the English Language', 'Notes on Nationalism', 'Writers and Leviathan', 'The Sporting Spirit')。予習としてエッセイをあらかじめ読み、授業ではその内容確認をした上で、関連した質問について議論します。到達目標は、英語で書かれた批評文を原文で読みこなせるようになること、その内容について英語で反応できるようにすることです。

授業の計画:

第1回 序 ジョージ・オーウェルとは誰か? なぜオーウェルが重要なのか? 授業の概要説明

第2回 'Politics and the English Language'①

第3回 'Politics and the English Language'②

第4回 'Politics and the English Language'③

第5回 'Politics and the English Language'④

第6回 'Notes on Nationalism'①

第7回 'Notes on Nationalism'②

第8回 'Notes on Nationalism'③

第9回 'Notes on Nationalism'④

第10回 'Writers and Leviathan'①

第11回 'Writers and Leviathan'②

第12回 'The Sporting Spirit'

第13回 オーウェルに関連する文章を読む(詳細は授業の様子を見て決定) / 試験

第14回 試験の講評/振り返り/補足説明

その他 課題英作文(2回) / 予習・復習

成績評価方法:

授業で読むエッセイに関する作文課題(2回、各20%)、授業内期末試験(35%)、授業への参加度・出席点(25%)。

テキスト(教科書):

オーウェルの作品はウェブで読めますが、授業で読むものについてはプリントを配布します。

参考書:

授業中に指示します。

担当教員から履修者へのコメント:

オーウェルの文体は比較的読みやすいと思いますが、それでも英語原文を毎回3-5ページ(1,000-2,000単語)ほど読む予習が必要となります。これにどれくらいの時間を要するかは個人差があると思いますが、受講生の負担があまりに大きい場合には、扱うテキストや分量などを変更する可能性があります。

課題文献のうち、とくに最初に読む 'Politics and the English Language'は英語ライティングのスタイルについて書かれたエッセイとしては有名なものなので、文章を読むことだけでなく書くことにも関心のある学生、ジャーナリスト志望などの学生などは、とくに楽しめるかもしれません。

授業は基本的に対面で実施します。

質問・相談:

授業のあとに質問・相談を受けつけます。時間を要する質問や相談についてはメールで受けつけます。

英語第Ⅲ 1 単位(春学期)

英語第Ⅲ 1 単位(秋学期)

「英語」から環境について考える[C][P]
春学期・秋学期：月1/月4

脇田 裕正

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、環境問題を英語を通して原理的に考えていくことを目標とします。現代の緊迫する国際情勢を気候変動を中心にしながら考えていきます。

温暖化を始めとした地球規模での環境の激変により、従来では考えられないような世界の色々な地域の現状を英字新聞を通して学んでいきます。多様な地域で起こりつつある海面上昇のような危機的な状況を知ることで、結果的に、「日本」の現状についても冷静に、かつ理論的に考えることができるようになると思います。授業では、配布される資料を必ず読んでください。適時指名して該当箇所を訳読してもらいます。

授業では英語の資料をゆっくりと丁寧に読んでいきます。基礎的な英語力がない人でも不安になることはありません。基本的な文法事項の確認から始めていきます。予習は必ずしてきてください。

授業の計画:

【春学期】

- 第1回 イン트로ダクション
- 第2回 指定された論文の読解と、その論文に関するディスカッション。
- 第3回 指定された論文の読解と、その論文に関するディスカッション。
- 第4回 指定された論文の読解と、その論文に関するディスカッション。
- 第5回 指定された論文の読解と、その論文に関するディスカッション。
- 第6回 指定された論文の読解と、その論文に関するディスカッション。
- 第7回 指定された論文の読解と、その論文に関するディスカッション。
- 第8回 指定された論文の読解と、その論文に関するディスカッション。
- 第9回 指定された論文の読解と、その論文に関するディスカッション。
- 第10回 指定された論文の読解と、その論文に関するディスカッション。
- 第11回 指定された論文の読解と、その論文に関するディスカッション。
- 第12回 指定された論文の読解と、その論文に関するディスカッション。
- 第13回 指定された論文の読解と、その論文に関するディスカッション。
- 第14回 前期授業の総括
- その他 課題とレポート

【秋学期】

- 第1回 イン트로ダクション
- 第2回 指定された論文の読解と、その論文に関するディスカッション。
- 第3回 指定された論文の読解と、その論文に関するディスカッション。
- 第4回 指定された論文の読解と、その論文に関するディスカッション。
- 第5回 指定された論文の読解と、その論文に関するディスカッション。
- 第6回 指定された論文の読解と、その論文に関するディスカッション。
- 第7回 指定された論文の読解と、その論文に関するディスカッション。
- 第8回 指定された論文の読解と、その論文に関するディスカッション。
- 第9回 指定された論文の読解と、その論文に関するディスカッション。
- 第10回 指定された論文の読解と、その論文に関するディス

カッション。

第11回 指定された論文の読解と、その論文に関するディスカッション。

第12回 指定された論文の読解と、その論文に関するディスカッション。

第13回 まとめと試験

第14回 後期授業の総括

その他 課題とレポート

成績評価方法:

平常点と小テスト(詳細は第1回目の授業で説明します。)

テキスト(教科書):

適時プリントを配布します。

参考書:

授業中に指示します。

担当教員から履修者へのコメント:

必ず該当箇所の予習をしてください。明らかに予習をしていない場合は、成績評価は大幅な減点となります。

遠隔授業を行うことがあります。詳細については初回授業で説明します。

英語第Ⅲ 1 単位(春学期)

英語第Ⅲ 1 単位(秋学期)

基礎から始める英文精読[C][P]

春学期・秋学期：月2

脇田 裕正

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業の目標は英語の長文を素早く間違えずに読むようになることです。授業では長めの英文をじっくり丁寧に読んでいきます。基本的な文法事項の確認から初め、最終的に、複雑な文章でも容易に読めるようになることを目標としています。ゆっくりと一字一句を読んでいきますので、英語が苦手な方でも置いてきぼりになることはないかと思います。英語の構造と日本語の構造の違いなども解説しながら、英語の読解力の底上げをしていきます。教材は配布します。世界の様々な地域の環境問題(とりわけ海や島に関するもの)や、政治的な問題(領土問題など)に関する英字新聞や英語の雑誌などを読みます。配布される資料を必ず読んでください。適時指名して該当箇所を訳読してもらいます。その後、配布された資料に関する議論を行います。

授業の計画:

【春学期】

- 第1回 イン트로ダクション
- 第2回 指定された論文の読解とその論文に関するディスカッション。
- 第3回 指定された論文の読解とその論文に関するディスカッション。
- 第4回 指定された論文の読解とその論文に関するディスカッション。
- 第5回 指定された論文の読解とその論文に関するディスカッション。
- 第6回 指定された論文の読解とその論文に関するディスカッション。
- 第7回 指定された論文の読解とその論文に関するディスカッション。
- 第8回 指定された論文の読解とその論文に関するディスカッション。
- 第9回 指定された論文の読解とその論文に関するディスカッション。
- 第10回 指定された論文の読解とその論文に関するディスカッション。
- 第11回 指定された論文の読解とその論文に関するディスカッション。
- 第12回 指定された論文の読解とその論文に関するディスカッション。
- 第13回 指定された論文の読解とその論文に関するディスカッション。
- 第14回 前期授業の総括(文法事項を中心とした確認)
- その他 課題とレポート

【秋学期】

- 第1回 インTRODクシヨ
第2回 指定された論文の読解とその論文に関するディスカシヨ
第3回 指定された論文の読解とその論文に関するディスカシヨ
第4回 指定された論文の読解とその論文に関するディスカシヨ
第5回 指定された論文の読解とその論文に関するディスカシヨ
第6回 指定された論文の読解とその論文に関するディスカシヨ
第7回 指定された論文の読解とその論文に関するディスカシヨ
第8回 指定された論文の読解とその論文に関するディスカシヨ
第9回 指定された論文の読解とその論文に関するディスカシヨ
第10回 指定された論文の読解とその論文に関するディスカシヨ
第11回 指定された論文の読解とその論文に関するディスカシヨ
第12回 指定された論文の読解とその論文に関するディスカシヨ
第13回 指定された論文の読解とその論文に関するディスカシヨ
第14回 後記授業の総括(学術論文を読むためのスキルの最終確認)
その他 課題とレポート

成績評価方法:

平常点と期末テスト(詳細は第1回目の授業で説明します。)

テキスト(教科書):

適時プリントを配布します。

参考書:

授業中に指示します。

担当教員から履修者へのコメント:

必ず該当箇所の予習をしてください。遠隔授業を行うことがあります。詳細については初回授業で説明します。